

H28当初：10,431千円（一）10,431千円

事業概要

期待される効果

保護者のニーズが高い短時間の一時預かりにも対応できるよう、高齢者や子育て世代の交流を図るとともに、一時預かりも可能な多機能型の保育事業所を設置する。

保護者のニーズに合った一時預かり等の子育て支援に地域の人材を活用することにより、地域の中で働きながら子育てしやすい環境に繋がる。

現状・課題

少子化、核家族化等により就労形態や価値観の多様化など生活習慣が変化中、人と人との結びつきや地域で子どもを育てていくという連帯意識が希薄になってきている。

◆子育て家庭

- ◇身近に話をしてくれる人や育児を手伝ってくれる人がいない等により、育児不安や育児ストレスをひとりで抱えてしまい、孤立感を感じている保護者が増加
  - 育児の手助けをしてくれる場の確保
- ◇高知県子ども・子育て会議部会(H27.8~11)での委員意見
  - ・短時間(2時間程度)の預かりの需要は多い。
  - ・一時預かりは普段在籍していない乳幼児の対応をするため、登録・予約が必要であるが、数日先までの予約がいっぱいで、突発的な利用がしづらい。
  - 突発的な一時預かりの場の確保

◆高齢者

- 元気な高齢者が増加しており、生きがいを求めて地域で暮らしていくことを望んでいる。
  - ※地域での活動に対する考え(平成24年度高知県県民世論調査)
  - 「近隣の方々と繋がりを大切にしていきたい」
  - 60歳代:55.7%、70歳以上:62.9%
  - 地域活動への参加の機会の確保

◆地域型保育事業所

- 8市村17か所(家庭的保育事業所:0か所)<H28.1月現在>
  - 待機児童の多くは0・1歳であり、高知市等中心部に集中。
  - ・保育所への入所が4月に集中するため、年度途中での受け入れ施設が不足

事業目標

- 小規模なコミュニティ等をつくり、身近な地域の中で、一時預かり等保護者のニーズに合った支援を充実させる。
- モデル事業として
- 【家庭的保育等】
  - H31:20か所(H28:2か所)
  - 【保育所等】
  - H31:12か所(H28:1か所)

実施内容

NEW 多機能型保育モデル事業費補助金

【H28当初:5,600千円】

補助先:メンバーが5人以上の団体 補助率:定額

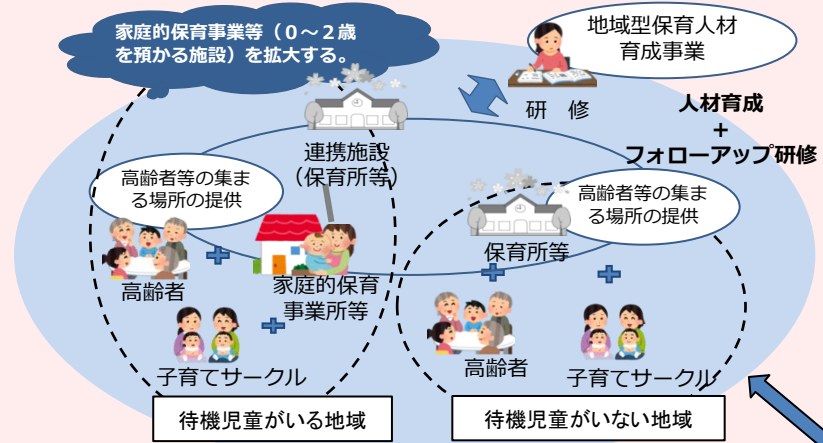
①家庭的保育等地域連携事業

地域と家庭的保育事業所等との連携により、家庭的保育事業所等を交流の場所として提供するとともに、短時間の一時預かり等保護者のニーズへの柔軟な対応を行う。

- ◆補助事業の内容
  - ・高齢者等の人材を保育の補助者に活用
  - ・高齢者や子育てサークルとの交流(育児や日常生活等の情報提供、短時間の子ども一時預かり)
  - ・家庭的保育事業所等と地域をつなぐ調整役の設置
- ◆補助対象経費
  - ・家庭的保育事業等と併せて交流事業を実施するために必要な準備経費及び運営経費(事業開始前6カ月及び事業開始後12カ月)
- ◆補助基準額：100,000円/月

②家庭的保育整備支援事業(改修費用への上乗せ補助)

- ◆補助対象経費
  - 改修時に、高齢者等の集いの場を併せて整備する場合に必要な施設整備費等
- ◆補助基準額：1,000,000円/1か所



子育て家庭への支援

多機能型保育の効果

- ◆子育て家庭
  - 短時間の子ども一時預かりや育児相談により、身近な地域での子育てに対して安心感が得られる。
- ◆高齢者
  - 子どもと触れ合ったり、時には保育の補助をすることで、地域と繋がりが、生きがいをもちて暮らすことができる。
- ◆保育事業者
  - 地域に開かれた保育を行うことで、子どもが高齢者や様々な年齢の者と触れ合い、安心感を得ることができる。

※参考

【家庭的保育事業(市町村認可事業)】

- ・対象年齢：0~2歳児
  - ・職員数：乳幼児3人に対し1人
  - ・保育室等：3.3m<sup>2</sup>/人
  - ・認可定員：1~5人
  - ・職員資格：家庭的保育者
  - ・自園調理、調理設備
- 【連携内容】
- ①保育内容の支援
    - ・給食に関する支援(献立作成の助言、アレルギー児への相談・助言等)
    - ・嘱託医(健康診断)
    - ・合同保育(発達に遅れがある可能性のある子どもの早期発見や家庭支援)
  - ②代替保育(家庭的保育者の病気・休暇、研修等の場合)
  - ③卒園後の受け皿の設定

NEW

多機能型保育支援事業委託料

【H28当初:4,831千円】

委託内容:モデル事業の発掘、情報発信  
事業全体の業務支援  
委託先:未定